

タブレットを活用した授業実践

2年B組技術・家庭科

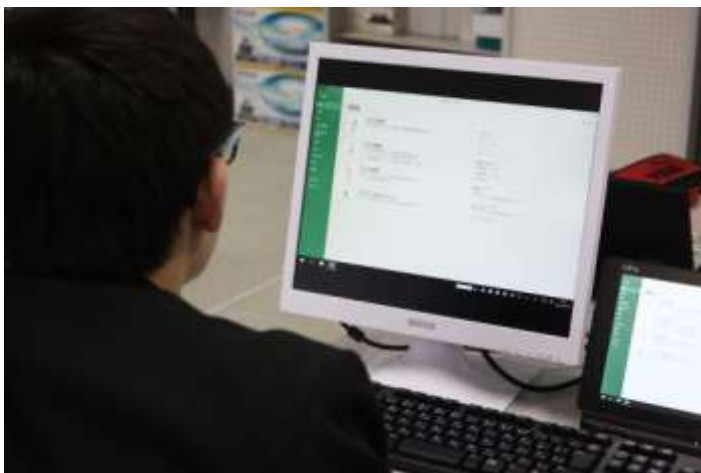
今回の技術・家庭科は、「コンピュータと情報処理」。ハードウェアやソフトウェアについて学ぶ学習です。

情報を処理する仕組みを学ぶために、表計算ソフトについて、タブレットを使って学習しました。

ワープロやプレゼンテーションソフトは、技術家庭科だけでなく、各教科や総合的な学習の時間等で活用していますが、表計算ソフトの操作は意外と行っていないのではないのでしょうか。本校では、保健体育科で、生徒自身が評価をするときに、表計算ソフトで作成した入力シートにデータを入力することはありますが、一からシートを作成するのは技術・家庭科の情報を扱った単元ぐらいだと思います。



将来的に、活用すること



が多いと思われる表計算ソフトについて、その使用方法や活用方法を学び、情報をどうやって処理していくのかについて知ることは大切なことです。

今回の授業では、表計算ソフトの様々な機能を使って、出納簿を作成しました。

表計算ソフトを初めて触る

生徒も少なからずいて、表を作成するだけでも戸惑いながら取り組んでいる姿が見られました。

罫線、センタリング、ナンバリング、そして金額の入力方法等、新しく学ぶ

機能を少しずつ覚えていきました。

もともとタブレット端末等のコンピュータは、日本語に訳すと「電子計算機」です。計算等の膨大な情報処理に長けています。その機能のすごさを体感できるのは、ひょっとしたら表計算ソフトなのかもしれません。

